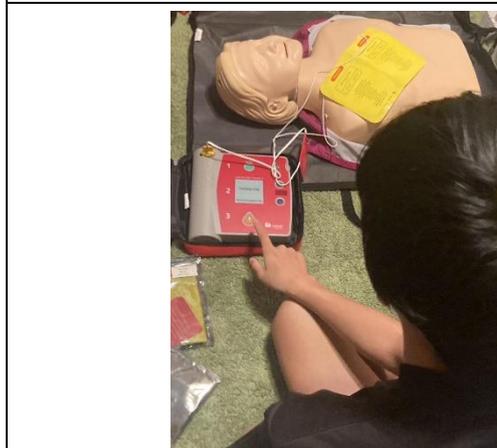


2023 年度活動助成 活動実績報告書

団体名	ちいさいたね
活動テーマ	応急手当講習 ～出来ることがきっとある～



「応急手当 ～出来ることがきっとある～」は下記の目的をもって活動しました。

- ①市民による応急手当の普及推進と相互に命を守る地域づくり
- ②自らの力が社会の助けとなることを知ってもらい、さらなる学びや社会参加を促す

私達は誰もが事故や病気になったり、緊急の現場に居合わせる可能性をもっています。

しかし人命救助はハードルが高く心理的負担が大きいものです。

そこで当団体での応急手当講習では「参加者の感情に寄り添う」ことを大切にしてきました。

シュミレーションを取り入れ、救急の場面に対して起こる感覚とその理由を考え、参加者間で共有しました。不安を感じることは当たり前だという理解をすすめました。

そのうえで応急手当が「安全に行えるよう設計されていること」や法的な側面、サポート体制を伝え、救命活動への参加を促しました。

また、「なぜなのか」という根拠への理解を重点としました。

例えば「胸骨圧迫は1分間に 100～120 回」という知識に、「100 回以下はどうか」など疑問をぶつけて、「何のために、どのように行うか」を学びました。そして、交通整理などの間接的な行為も含めて救命活動だと捉え「出来ることがきっとある」との思いを共有しました。

子ども向けの講習では目当て絞り、紙芝居などを取り入れ楽しめる工夫もしました。

直面時の不安を減らしたり、2次被害を防ぐなど、適切に行動できるよう学びました。

自分事として学びを持ち帰り、インプットを整理していく過程が「さらなる学び」への大きな足がかりになると考えています。

互いの力を活かして助け合う、頼もしく優しい社会に向けて、参加者の皆様とともに一歩前進させていただけたこの1年とそれを支えてくださった皆様に深く感謝申し上げます。